

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
1035	総コレステロール (T-Cho) 3F050-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	17 ^① 生I	酵素法	mg/dL 150~219		高脂血症 LPL欠損症 ネフローゼ症候群 動脈硬化性疾患	
1036	遊離コレステロール (F-Cho) 3F065-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	2~3	11 生I	酵素法	mg/dL 25~60	*01	糖尿病 甲状腺機能低下症 ネフローゼ症候群 肝硬変	
1040	HDLコレステロール 3F070-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	17 ^① 生I	酵素法 (直接法)	mg/dL M:40~85 F:40~98		高脂血症 閉塞性肺疾患 原発性胆汁性肝硬変	
1037	中性脂肪 (TG) 3F015-0000-023-271	血清0.2	1	冷蔵		11 生I	酵素法 (グリセロール消法)	mg/dL 50~149		高脂血症 LPL欠損症 HTGL欠損症 糖尿病	
4893	non-HDL-C 3F069-0000-023-919	血清0.6	1	冷蔵	1~2		計算法		計算式: nonHDL-C=(総コレステロール)-(HDLコレステロール) 総コレステロールとHDLコレステロールの2項目と同種依頼の場合にのみ結果報告いたします。 TGが400mg/dL以上の場合に用いられます。	動脈硬化	
3271	リン脂質 (PL) 3F025-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	1~2	15 生I	酵素法	mg/dL 150~250	*01	甲状腺機能低下症 閉塞性黄疸 肝炎 ネフローゼ症候群 高脂血症 肝硬変	
3267	コレステロール分画 3F150-0000-023-233	血清0.3	1	冷蔵	3~5	57 生I	アガロース膜電気泳動法	下記参照	*01	高脂血症 動脈硬化症 家族性高HDL血症 脳梗塞	
3266	リポ蛋白分画 (LPF) 3F135-0000-023-233	血清0.3	1	冷蔵	3~5	49 生I	アガロース膜電気泳動法	下記参照	*01	高脂血症 糖尿病 ネフローゼ症候群 甲状腺機能低下症	
5149	リポ蛋白分画定量 (PAGE法) 3F140-0000-023-235	血清0.3	1	冷蔵	3~5	80 生I	ポリアクリルアミドゲルティスク電気泳動法	下記参照	*01	空腹時に採血し分離後上清を冷蔵し提出してください。 凍結不可。	高脂血症 肝硬変 甲状腺機能亢進症 LCAT欠損症
3297	A-I 3F180-0000-023-061	一種につき血清0.3 (血清0.5で6項目同時測定可)	1	冷蔵	2~3	31・62・94 生I	免疫比濁法 (TIA法)	mg/dL M:119~155 F:126~165	*01	AI・AII:低HDL血症 B:高コレステロール血症 CI・CII・E:高TG血症	
3298	A-II 3F185-0000-023-061			冷蔵				mg/dL M:25.9~35.7 F:24.6~33.3	*01		
3299	B 3F190-0000-023-061			冷蔵				mg/dL M:73~109 F:66~101	*01		
3300	C-II 3F195-0000-023-061			冷蔵				mg/dL M:1.8~4.6 F:1.5~3.8	*01		
3301	C-III 3F200-0000-023-061			冷蔵				mg/dL M:5.8~10.0 F:5.4~9.0	*01		
3302	E 3F205-0000-023-061			冷蔵				mg/dL M:2.7~4.3 F:2.8~4.6	*01		

①HDL-コレステロール、総コレステロール及びLDL-コレステロールを併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

②アポリポ蛋白は、AI、AII、B、CII、CIII及びEのうち、測定した項目数に応じて、所定点数を算定する。(1項目:31点、2項目:62点、3項目以上:94点)

★LDL計算法=総コレステロール-HDLコレステロール-(中性脂肪/5) ただし中性脂肪が、400mg/dL以上の場合は計算不可。

[3267] コレステロール分画 (基準値) (%)

HDL-ch	M: 17~43 F: 22~51
VLDL-ch	M: 2~18 F: 1~14
LDL-ch	M: 51~77 F: 45~72

[3266] リポ蛋白分画 (基準値) (%)

α	M: 27~51 F: 33~53
preβ	M: 8~24 F: 7~21
β	M: 35~56 F: 34~52

[5149] リポ蛋白分画定量PAGE法 (基準値) (%)

	M	F
HDL	22~50	26~53
LDL	44~69	42~65
VLDL	5~20	4~17



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0155	レムナント様リポ蛋白 コレステロール (RLPコレステロール) 3F078-0000-023-271	血清0.6	1	冷蔵	2~3	189 ^① 生I	酵素法	mg/dL 7.5以下	糖尿病、冠動脈疾患などの既往歴のある場合は、5.2mg/dL以上がハイリスクといわれています。 ※33	動脈硬化性疾患 高脂血症 甲状腺機能低下症 糖尿病
1298	リポ蛋白 (a) (LP (a)) 3F156-0000-023-061	血清0.5	1	冷蔵	3~4	107 ^② 生I	免疫比濁法 (TIA法)	mg/dL 40.0以下	※01	動脈硬化性疾患 家族性高コレステロール血症 糖尿病 腎透析患者 急性肝炎 肝硬変
5440	HDL2,3 コレステロール 3F075-0000-023-221	血清1.0	1	冷蔵 (20日)	3~5		超遠心法	mg/dL HDL2コレステロール M 16.0~61.0 F 23.0~73.0 HDL3コレステロール M 13.0~25.0 F 13.0~24.0	凍結保存は避けてください。	HDL ₂ ・HDL ₃ 増加: CETP欠損症 肝性 HTGL活性低下 HDL ₂ 低下:LPL活性 低下 動脈硬化性疾患 急性肝炎 HDL ₃ 低下:肝硬変 急性肝炎 閉塞性黄疸
5536	LDLコレステロール 3F077-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	18 ^③ 生I	酵素法 (直接法)	mg/dL 70~139		ネフローゼ症候群 高脂血症 糖尿病 肥満 閉塞性黄疸 肝硬変 慢性肝炎
4877	MDA-LDL (酸化LDL) 3F087-0000-023-023	血清0.3	67	(分離後) 凍結 (21日)	4~8	200 ^④ 生I	ELISA法	下記欄参照	採血後6時間以内の血清分離を必要とする為、午前11時以降の採血をお願いいたします。 ※02	糖尿病合併の虚血性心疾患 陳旧性心筋梗塞 急性心筋梗塞 経皮的冠動脈形成術前後 急性冠症候群
3272	胆汁酸 (TBA) 3F110-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	1~2	47 生I	酵素法	μmol/L 14.4以下 (食後4時間以上経過)	※01	急性肝炎 慢性肝疾患 胆汁うっ滞
2315	グリココール酸 3F115-0000-023-002	血清0.2	1	冷蔵	3~7	80 生I	RIA PEG法	μg/dL 50以下	※02	肝実質細胞障害 胆汁うっ滞
3341	脂肪酸分画 (4成分) 3F095-0000-023-202 3F095-0000-022-202	血清0.5	1	(分離後) 凍結 (35日)	5~7	429 生II	Gas- chromatograph法	μg/mL DHLA :22.6~72.5 AA :135.7~335.3 EPA :10.2~142.3 DHA :54.8~240.3 EPA/AA比0.05~0.61 DHA/AA比0.27~1.07 (EPA+DHA)/AA比0.32~1.66	早期空腹時に指定の容器に採血し、よく混和させ、血漿分離してください。血漿は凍結保存してください。	動脈硬化性疾患 (AA) 家族性LCAT欠損症 (EPA, DHA) 動脈硬化性疾患 (EPA, DHA)
		血漿0.5	19	(分離後) 凍結 (35日)						
1113	脂肪酸分画 (24成分) 3F095-0000-023-202 3F095-0000-022-202	血清0.5	1	(分離後) 凍結 (35日)	11~15		Gas- chromatograph法	下記欄参照	※02	血栓症 必須脂肪酸欠乏
		血漿0.5	19	(分離後) 凍結 (35日)						

- ①レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLP-C) は免疫吸着法-酵素法又は酵素法により実施し、3月に1回を限度として算定できる。
 - ②リポ蛋白 (a) は、3月に1回を限度として算定できる。
 - ③HDL-コレステロール、総コレステロール及びLDL-コレステロールを併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。
 - ④マロンジアルデヒド修飾LDL (MDA-LDL) は、冠動脈疾患既往歴のある糖尿病患者で、冠動脈疾患発症に関する予後予測の補助の目的で測定する場合に3月に1回に限り算定できる。ただし、糖尿病患者の経皮的冠動脈形成術治療時に、治療後の再狭窄に関する予後予測の目的で測定する場合、上記と別に術前1回に限り算定できる。
- ★LDL計算法=総コレステロール-HDLコレステロール-(中性脂肪/5) ただし中性脂肪が、400mg/dL以上の場合は計算不可。

[1113] 全脂質中脂肪酸分画の参考基準値

(単位:重量、%)

No.	脂肪酸名	略号 (炭素数)	μg/mL	重量%
1	ラウリン酸	C12:0	10.2以下	0.31以下
2	ミリスチン酸	C14:0	10.8~61.1	0.36~1.43
3	ミリストレイン酸	C14:1ω5	3.2以下	0.09以下
4	パルミチン酸	C16:0	495.1~918.3	19.18~23.84
5	パルミトレイン酸	C16:1ω7	23.8~117.3	0.87~3.18
6	ステアリン酸	C18:0	167.6~312.7	6.13~8.49
7	オレイン酸	C18:1ω9	433.9~910.1	16.19~23.66
8	リノール酸	C18:2ω6	708.1~1286.0	23.24~36.89
9	γ-リノレン酸	C18:3ω6	2.5~25.6	0.09~0.72
10	リノレン酸	C18:3ω3	11.5~45.8	0.40~1.30
11	アラキジン酸	C20:0	6.9~14.4	0.24~0.46
12	エイコセン酸	C20:1ω9	2.6~9.5	0.09~0.30
13	エイコサジエン酸	C20:2ω6	4.3~9.3	0.15~0.26
14	5-8-11エイコサトリエン酸	C20:3ω9	6.0以下	0.17以下

(単位:重量、%)

No.	脂肪酸名	略号 (炭素数)	μg/mL	重量%
15	ジホモ-γ-リノレン酸	C20:3ω6	22.6~72.5	0.79~2.05
16	アラキドン酸	C20:4ω6	135.7~335.3	4.21~9.30
17	エイコサペンタエン酸	C20:5ω3	10.2~142.3	0.36~3.99
18	ペヘニン酸	C22:0	14.6~30.3	0.43~0.91
19	エルシン酸	C22:1ω9	1.4以下	0.04以下
20	ドコサテトラエン酸	C22:4ω6	2.9~10.4	0.10~0.30
21	ドコサペンタエン酸	C22:5ω3	9.5~31.8	0.34~0.89
22	リグノセリン酸	C24:0	15.5~31.2	0.49~0.90
23	ドコサヘキサエン酸	C22:6ω3	54.8~240.3	1.88~6.86
24	ネルボン酸	C24:1ω9	27.1~53.0	0.78~1.64
T/T比 (C20:3ω9/C20:4ω6)			0.02以下	/
EPA/AA比 (C20:5ω3/C20:4ω6)			0.05~0.61	
DHA/AA比 (C22:6ω3/C20:4ω6)			0.27~1.07	
(EPA+DHA)/AA比			0.32~1.66	
ω3/ω6比			0.09~0.36	

[4877] MDA-LDL (単位:U/L)

45才未満:男性 55才未満:女性	46~82
45才以上:男性 55才以上:女性	61~105

1 プレイン容器



19 ヘパリン



67 MDA-LDL専用容器



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
1061	ナトリウム (Na) <small>3H010-0000-023-261 3H010-0000-004-261</small>	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I	電極法	mmol/L 135~147	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存はナトリウムが低値を示しますので避けて下さい。	脱水 腎不全 心不全 原発性アルドステロン症 ネフローゼ症候群
0131		蓄尿5.0	2	冷蔵				g/day 4~8		一日尿量記入
1064	クロール (Cl) <small>3H020-0000-023-261 3H020-0000-004-261</small>	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I	電極法	mmol/L 96~110	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存はナトリウムが高値を示しますので避けて下さい。	尿管性アシドーシス 呼吸性アルカローシス アシノン病 嘔吐
0133		蓄尿5.0	2	冷蔵				g/day 6~12		一日尿量記入
1062	カリウム (K) <small>3H015-0000-023-261 3H015-0000-004-261</small>	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I	電極法	mmol/L 3.6~5.0	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血はカリウムが高値を示しますので避けて下さい。	腎不全 Addison病 Cushing症候群 嘔吐 下痢 アシドーシス アルカローシス 原発性アルドステロン症
0132		蓄尿5.0	2	冷蔵				g/day 1.5~2.5		一日尿量記入
1063	カルシウム (Ca) <small>3H030-0000-023-271 3H030-0000-004-271</small>	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^② 生I	アルセナソ法	mg/dL 8.6~10.1	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血はカリウムが高値を示しますので避けて下さい。	原発性副甲状腺機能亢進症 悪性腫瘍 ビタミンD過剰症 骨代謝異常
0134		蓄尿5.0	2	冷蔵				g/day 0.1~0.3		一日尿量記入
5392	イオン化カルシウム (Ca ²⁺) <small>3H035-0000-023-261</small>	流パラ 血清0.9	下欄参照	冷蔵	3~4	26 ^② 生I	イオン電極法	mEq/L 2.25~2.50 (4.5~5.0mg/dL)	※01	腎不全 副甲状腺機能低下症 サルコイドーシス 悪性腫瘍骨転移
1066	マグネシウム (Mg) <small>3H025-0000-023-271 3H025-0000-004-271</small>	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I	キシリジルブルー法	mg/dL 1.9~2.5	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血はカリウムが高値を示しますので避けて下さい。	腎障害 脱水 肝炎 ケトアシドーシス Addison病 原発性アルドステロン症
0110		蓄尿5.0	2	冷蔵				g/day 0.1~0.2		一日尿量記入
1065	無機リン (IP) <small>3H040-0000-023-271 3H040-0000-004-271</small>	血清0.3	1	冷蔵	1~2	17 ^③ 生I	モリブデン酸直接法	mg/dL 2.5~4.5	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置、冷却保存又は溶血はカリウムが高値を示しますので避けて下さい。	腎不全 副甲状腺機能低下症 サルコイドーシス 悪性腫瘍骨転移
0181		蓄尿5.0	2	冷蔵				g/day 0.5~2.0		一日尿量記入

① ナトリウム及びクロールについては、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。

② カルシウム及びイオン化カルシウムを同時に測定した場合には、いずれか一方についてのみ所定点数を算定する。

③ 無機リン及びリン酸については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。

● イオン化カルシウム (容器) 5mL真空採血後、ゴム栓の上から注射針を刺して流動パラフィンを1mL注入。

室内に30分放置後、血清分離。血清と流動パラフィンを10mL用チューブに移す。

(採血後流動パラフィンによる封入処理を行わないと、pHがアルカリ側に傾きイオン化カルシウム値が減少するので、流動パラフィンによる前処理を行ってください。)



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
1067	鉄 (Fe) 3I010-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 生I	ハソフェナントロリン 直接法	μg/dL M:60~180 F:50~160		肝疾患 鉄過剰症 無効造血 溶血性貧血 真性多血症 再生不良性貧血 鉄欠乏性貧血
1069	総鉄結合能 (TIBC) (比色法) 3I015-0000-023-919	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I		256~368		真性多血症 鉄欠乏性貧血
1068	不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法) 3I020-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I	ハソフェナントロリン 直接法	μg/dL 130~320		真性多血症 再生不良性貧血 鉄欠乏性貧血 鉄過剰症
3273	銅 (Cu) 3I025-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	1~2	23 生I	比色法 (3,5-DiBr-PAESA法)	μg/dL 66~130		肝疾患 胆道閉塞症 Basedow病 鉄欠乏性貧血 ネフローゼ症候群 Wilson病 副腎不全
1044	アルミニウム (Al) 3K105-0000-023-274	血清0.5	108	冷蔵	6~9	118 生I	原子吸光法	μg/dL 0.9以下		腎不全 尿毒症 アルミニウム中毒
0177	亜鉛 (Zn) 3I030-0000-023-271	血清0.6	1	冷蔵	3~5	144 生I	Nitro PAPS法	μg/dL 66~118		赤血球増多症 好酸球増多症 溶血性貧血 甲状腺機能亢進症 副腎不全 長期高カロリー輸液時
2511	クロム (Cr) 3K115-0000-019-274	血液0.7	19	冷蔵	7~20		原子吸光 分光光度法	μg/dL 1.0以下		クロム中毒 中心静脈栄養 (IVH高カロリー輸液) 糖尿病
2509	マンガン (Mn) 3K125-0000-019-274	血液0.7	19	冷蔵	8~21	27 ^② 生I		0.8~2.5		マンガン中毒 急性腎不全 腎透析患者 炎症性関節炎 肝炎 肝硬変 慢性腎不全
2507	カドミウム (Cd) 3K120-0000-019-274 3K120-0000-001-274	血液0.5	19	冷蔵	10~15		原子吸光法	μg/dL 1以下	凍結保存は避けてください。	カドミウム中毒 イタイイタイ病
2508		尿1.0	35	冷蔵	9~15			μg/L 3.8以下		
2505	鉛 (Pb) 3K110-0000-019-274 3K110-0000-001-274	血液3.0	19	冷蔵	4~6		原子吸光 分光光度法	μg/dL	98ページをご参照ください。	鉛中毒
2506		尿1.0	2	冷蔵	4~17		原子吸光 分光光度法	μg/L 25.0以下		

- ① 総鉄結合能 (TIBC) (比色法) と不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法) を同時に実施した場合は、不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法) または総鉄結合能 (TIBC) (比色法) の所定点数を算定する。
- ② 区分番号「D007」血液化学検査「8」マンガン (Mn) は、1月以上 (胆汁排泄能の低下している患者については2週間以上) 高カロリー静脈栄養が行われている患者に対して、3月に1回に限り算定することができる。

